

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジユウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育人文学部 幼児教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	170人	— 年次人	680人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	170人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	170人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	0.93倍	倍	
志願者数	336 (—) [0]	— (—) [—]	243 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	317 (—) [0]	— (—) [—]	226 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	255 (—) [0]	— (—) [—]	222 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	175 (—) [0]	— (—) [—]	146 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.02		0.85										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	175 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	146 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		174 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/						/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			175 [ 0 ] ( - )		320 [ 0 ] ( - )				[ ] ( )		[ ] ( )

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	175 人	1 人	令和2年度	1 人	0 人	転学科(1)
令和3年度	320 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		1 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{175} = \boxed{0.57} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{320} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<教育人文学部 幼児教育学科>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			5	3	1	1			
	コミュニケーション演習	1前・後	1									6
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2								17
	課題解決ゼミナール	2・3 前・後		2								2
	総合ゼミナール	3・4 前・後		2								2
共通科目 総合科目	地域で学ぶ	1・2・3・4 前・後		2								3
	地域と人間生活	2・3・4前・後		2								6
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4 後		2		1						1
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						3
	総合科目	1・2・3・4 前・後		2								1
自主社会活動	1・2・3・4 前・後		1								2	
女性を生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								2
	リーガルリテラシー	1前・後		2								1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2								1
	子育てと環境	1前・後		2		2	1		1			
	女性と健康	1前・後		2								1
	女性の心と身体	1・2・3 前・後		2								2
	食の科学	2・3 前・後		2								1
	歴史のなかの女性	2・3 前・後		2								1
	芸術を読みとる	2・3 前・後		2								1
	社会に生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2							
ネットワーク社会		1前・後		2								1
共生社会入門		1前・後		2								1
多様性と倫理		1前・後		2								1
持続可能な社会		1前・後		2								1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3 前・後		2								3
ボランティア論		1・2・3 前・後		2								1
災害と社会		2・3 前・後		2								1
21世紀型の教育		2・3 前・後		2								1
保健体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4 前		1				1				1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4 後		1		1		1				10
情報処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1									3
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4 後		1								3

#### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			11	5	4	1			
	コミュニケーション演習	1前	1									2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2			0	1				8
	課題解決ゼミナール	2・3 前・後		2								3
	総合ゼミナール	3・4 前・後		2								2
共通科目 総合科目	地域で学ぶ	1・2・3・4 前・後		2								2
	地域と人間生活	2・3・4前・後		2								10
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4 後		2		1						1
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						4
	総合科目	1・2・3・4 前・後		2								14
自主社会活動	1・2・3・4 前・後		1								3	
女性を生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								2
	リーガルリテラシー	1前・後		2								1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2								1
	子育てと環境	1前・後		2		2	1		1			
	女性と健康	1前・後		2								2
	女性の心と身体	1・2・3 前・後		2					1			0
	食の科学	2・3 前・後		2								3
	歴史のなかの女性	2・3 前・後		2								1
	芸術を読みとる	2・3 前・後		2								1
	社会に生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2							
ネットワーク社会		1前・後		2								1
共生社会入門		1前・後		2								1
多様性と倫理		1前・後		2								1
持続可能な社会		1前・後		2								1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3 前・後		2								1
ボランティア論		1・2・3 前・後		2								1
災害と社会		2・3 前・後		2								1
21世紀型の教育		2・3 前・後		2								1
保健体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4 前		1					0			3
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4 後		1		1		1				12
情報処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1									2
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4 後		1								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語(基礎科目) 共通科目	英語 I a	1前	1								2
	英語 I b	1後	1								2
	英語 II a	2・3・4前	1								1
	英語 II b	2・3・4後	1								1
	中国語Ia	1前	1								2
	中国語Ib	1後	1								2
	中国語 II a	2・3・4前	1								2
	中国語 II b	2・3・4後	1								2
	朝鮮語Ia	1前	1								1
	朝鮮語Ib	1後	1								1
	フランス語Ia	1前	1								1
	フランス語Ib	1後	1								1
海外語学研修	1・2・3・4前	1								1	
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								1
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								1	
中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1	
日本語(非母国語者向) 共通科目	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								1
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語(基礎科目) 共通科目	英語 I a	1前	1									4
	英語 I b	1後	1									4
	英語 II a	2・3・4前	1									1
	英語 II b	2・3・4後	1									1
	中国語Ia	1前	1									2
	中国語Ib	1後	1									2
	中国語 II a	2・3・4前	1									1
	中国語 II b	2・3・4後	1									1
	朝鮮語Ia	1前	1									2
	朝鮮語Ib	1後	1									2
	フランス語Ia	1前	1									1
	フランス語Ib	1後	1									1
海外語学研修(未開講)	1・2・3・4前	1									1	
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1									2
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1									2
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1									1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1									1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2									2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2									2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2									1
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2									2
	ビジネス英語	2・3・4後	2									1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2									2
	インターネット英語	2・3・4後	2									1
	メディア英語	2・3・4前	2									1
TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2									2	
中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2									1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2									2	
日本語(非母国語者向) 共通科目	総合日本語 I a	1前	1									1
	総合日本語 I b	1後	1									1
	総合日本語 II a	2前	1									1
	総合日本語 II b	2後	1									1
	総合日本語 III a	3・4前	1									1
	総合日本語 III b	3・4後	1									1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1									1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1									1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1									1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1									1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前	1									1
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後	1									1
日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前	1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語 (非母国語者向) 共通科目	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1								1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1								1
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1								1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1								2
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			1						
	キャリアロールモデル研究	2後		2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2								2
	プロアクティブ人材育成	2後		2								2
	キャリアサポート演習	3通		2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	5	3	1	1				74
専門基礎 科目	児童学概論	1前	2			6	7	1	1			
	児童学演習	1通	2			3	2		1			
	児童学研究法	3後	2			2						
	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1					
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1					
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1					
保育と教育 専門科目	保育者論	2後	2			1						
	幼児教育学	1前	2			1						
	教育学	1後	2									1
	保育制度・保育政策論	2前	2						1			
	特別支援教育概論	2後	2			1	1					2
	障害児保育	3前	2			1	1					
	保育・教育課程論	3前	2			1						
	子どもの理解と援助	2前	2			1	1					
	教育方法	2前	2									1
	乳児保育Ⅰ	2後	2									1
	乳児保育Ⅱ	3前	2									1
	多文化保育論	3・4前	2									1
	保育学	3・4前・後	2			1	1					
保育臨床学	3・4前・後	2			1	1						
保育実践論	3・4前・後	2			1				1			
保育内容の 理解と方法 専門科目	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1				
	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1			1
	子どもと自然	2後	2									1
	言語文化表現	1後	2									2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語 (非母国語者向) 共通科目	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1								1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1								1
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1								1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1								1
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2					4	1		1	
	キャリアロールモデル研究	2前	2									1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2									2
	プロアクティブ人材育成	2後	2									1
	キャリアサポート演習	3通	2									1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2									1
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2									1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1									1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2									1
小計(89科目)	-	8	127	0	11	5	4	1				95
専門基礎 科目	児童学概論	1前	2			5	5	2	1			
	児童学演習	1通	2			3	2		1			
	児童学研究法	3後	2			2						
	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	0	1				
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1	1				
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1	1				
保育と教育 専門科目	保育者論	2後	2			1			1			
	幼児教育学	1前	2			1			1			
	教育学	1後	2									1
	保育制度・保育政策論	2前	2					1			0	1
	特別支援教育概論	2後	2			1	1					2
	障害児保育	3前	2			1	1					
	保育・教育課程論	3前	2			1						
	子どもの理解と援助	2前	2			1	1		1			
	教育方法	2前	2									1
	乳児保育Ⅰ	2後	2							1		1
	乳児保育Ⅱ	3前	2									1
	多文化保育論	3・4前	2									1
	保育学	3・4前・後	2			1	1					
保育臨床学	3・4前・後	2			1	1						
保育実践論	3・4前・後	2			1				1			
保育内容の 理解と方法 専門科目	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1				
	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		0			1
	子どもと自然	2後	2									1
	言語文化表現	1後	2									2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育内容の理解と方法	表現総論	2前	2			3	3	1					
	保育内容総論	3後		2		1	1						
	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1							
	保育内容の指導法(環境)	2後		2			1						
	保育内容の指導法(人間関係)	3前		2		1			1				
	保育内容の指導法(言葉)	3前		2		1	1						
	保育内容の指導法(音楽表現)	3前・後		2			2						
	保育内容の指導法(造形表現)	2後		2		1	1						
	保育内容の指導法(身体表現)	3前		2					1				
発達と臨床	保育・教育心理学	1前	2			1							
	生涯発達心理学	1後	2			1							
	保育・教育相談	3後		2		1							
	青年心理学	2・3前		2		1							
	乳幼児発達論	3・4前・後		2		2							
	発達臨床論	3・4前・後		2		1	1						
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2				1						
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後		2		1							
	社会福祉	1後	2			1							
	子ども家庭支援論	2前	2			1							
	社会的養護Ⅰ	2前		2		1							
	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1						
	子育て支援	2後		2			2						
	児童養護論	3・4前・後		2		1	1						
健康と運動	児童保健学	1後	2			1							
	子どもの健康と安全	2前	2			1							
	食と発達	2前		2							2		
	子どもと運動	2前	2			1							
	幼児運動論	3・4後		2		1							
	児童保健学各論	3・4後		2		1							
表現と文化	子どもと歌唱表現	2前	2				1						
	音楽表現基礎技能	1後		2			2					5	
	感じて表現(造形)	1前	2			1							
	考えて表現(造形)	1後	2			1							
	子どもと身体表現	2後	2					1				1	
	音楽表現応用	2・3前・後		1			2					6	
	造形発達と表現	2・3・4後		2		1	1						
	幼児音楽論	3・4前・後		2			2						
	造形保育論	3・4前・後		2		1	1						
	身体表現論	3・4後		2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育内容の理解と方法	表現総論	2前	2			4	1	2					
	保育内容総論	3後		2		1	1						
	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1							
	保育内容の指導法(環境)	2後		2			1						
	保育内容の指導法(人間関係)	3前		2		1				1			
	保育内容の指導法(言葉)	3前		2		1	1						
	保育内容の指導法(音楽表現)	3前・後		2			2						
	保育内容の指導法(造形表現)	2後		2		1	0	1					
	保育内容の指導法(身体表現)	3前		2						1			
発達と臨床	保育・教育心理学	1前	2			1							
	生涯発達心理学	1後	2			1							
	保育・教育相談	3後		2		1							
	青年心理学	2・3前		2		1							
	乳幼児発達論	3・4前・後		2		2							
	発達臨床論	3・4前・後		2		1	1						
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2				1						
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後		2		1							
	社会福祉	1後	2			1							
	子ども家庭支援論	2前	2			1							
	社会的養護Ⅰ	2前		2		1							
	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1						
	子育て支援	2後		2			2						
	児童養護論	3・4前・後		2		1	1						
健康と運動	児童保健学	1後	2			1							
	子どもの健康と安全	2前	2			1							
	食と発達	2前		2								2	
	子どもと運動	2前	2			1							
	幼児運動論	3・4後		2		1							
	児童保健学各論	3・4前		2		1							
表現と文化	子どもと歌唱表現	2前	2				1						
	音楽表現基礎技能	1後		2			1	1				5	
	感じて表現(造形)	1前	2			1	0						
	考えて表現(造形)	1後	2				0		0				1
	子どもと身体表現	2後	2						0				2
	音楽表現応用	2・3前・後		1			1	1	1				5
	造形発達と表現	2・3・4後		2		0	0	1					
	幼児音楽論	3・4前・後		2			2						
	造形保育論	3・4前・後		2		1	1						
	身体表現論	3・4後		2						1			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
フィールドワーク(実習)	幼稚園教育実習総論	3・4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
	保育実習総論Ⅰ	3通		2		5	4		1		
	保育実習Ⅰ(保育所)	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習Ⅰ(施設)	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅱ	4前		1		5	4		1		
	保育実習Ⅱ	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習Ⅲ	3・4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3・4通		2		5	4		1		
専門総科目	保育・教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
小計(76科目)		-	64	89	0	10	7	1	2	16	
合計(165科目)		-	72	216	0	10	7	1	2	87	
卒業要件及び履修方法											
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
フィールドワーク(実習)	幼稚園教育実習総論	3・4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
	保育実習総論Ⅰ	3通		2		5	4		1		
	保育実習Ⅰ(保育所)	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習Ⅰ(施設)	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅱ	4前		1		5	4		1		
	保育実習Ⅱ	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習Ⅲ	3・4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3・4通		2		5	4		1		
専門総科目	保育・教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
小計(76科目)		-	64	89	0	11	5	4	1	17	
合計(165科目)		-	72	216	0	11	5	3	1	109	
卒業要件及び履修方法											
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目31科目64単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			10	6	3	1		
	コミュニケーション演習	1前	1								2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2			1				9
	課題解決ゼミナール	2・3 前・後		2							2
	総合ゼミナール	3・4 前・後		2							2
共通総合 科目	地域で学ぶ	1・2・3・4 前・後		2							2
	地域と人間生活	2・3・4前・ 後		2							6
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4 後		2		1					1
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・ 後	2			1					3
	総合科目	1・2・3・4 前・後		2							10
女性を 生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2							2
	リーガルリテラシー	1前・後		2							1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2							1
	子育てと環境	1前・後		2		2	1		1		
	女性と健康	1前・後		2							2
	女性の心と身体	1・2・3 前・ 後		2							1
	食の科学	2・3 前・後		2							1
	歴史のなかの女性	2・3 前・後		2							1
	芸術を読みとる	2・3 前・後		2							1
	社会に 生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2						
ネットワーク社会		1前・後		2							1
共生社会入門		1前・後		2							1
多様性と倫理		1前・後		2							1
持続可能な社会		1前・後		2							1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3 前・ 後		2							1
ボランティア論		1・2・3 前・ 後		2							1
災害と社会		2・3 前・後		2							1
21世紀型の教育		2・3 前・後		2							1
保健 体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4 前		1				1			2
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4 後		1		1		0			13
情報 処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1								3
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4 後		1							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語(基礎科目)	英語 I a	1前	1								5
	英語 I b	1後	1								5
	英語 II a	2・3・4前	1								1
	英語 II b	2・3・4後	1								1
	中国語Ia	1前	1								2
	中国語Ib	1後	1								2
	中国語 II a	2・3・4前	1								2
	中国語 II b	2・3・4後	1								2
	朝鮮語Ia	1前	1								2
	朝鮮語Ib	1後	1								2
	フランス語Ia	1前	1								1
	フランス語Ib	1後	1								1
	海外語学研修(未開講)	1・2・3・4前	1								1
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用(未開講)	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2								1	
日本語(非母国語者向)	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								2
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1								1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1								1
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1								1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1								1
	日本語集中講座(編入)	2・3・4前		1								2
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1						
	キャリアロールモデル研究	2後		2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2								2
	プロアクティブ人材育成	2後		2								2
	キャリアサポート演習	3通		2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	10	6	3	1			88	
専門基礎科目	児童学概論	1前	2			6	6	1	1			
	児童学演習	1通	2			3	2		1			
	児童学研究法	3後	2			2						
	ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1					
	幼児教育基礎実習	2後	2			3	1					
	幼児教育基礎演習	2後	2			3	1					
専門と教育	保育者論	2後	2			1						
	幼児教育学	1前	2			1						
	教育学	1後	2									1
	保育制度・保育政策論	2前	2						1			
	特別支援教育概論	2後	2			1	1					
	障害児保育	3前	2			1	1					
	保育・教育課程論	3前	2			1						
	子どもの理解と援助	2前	2			1	1					
	教育方法	2前	2									1
	乳児保育Ⅰ	2後	2									1
	乳児保育Ⅱ	3前	2									1
	多文化保育論	3・4前	2									1
	保育学	3・4前・後	2			1	1					
保育臨床学	3・4前・後	2			1	1						
保育実践論	3・4前・後	2			1			1				
専門法	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1				
	人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1			
	子どもと自然	2後	2									1
	言語文化表現	1後	2									2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	手	
保育内容の理解と方法	表現総論	2前	2			3	3	1				
	保育内容総論	3後		2		1	1					
	保育内容の指導法(健康)	2後		2		1						
	保育内容の指導法(環境)	2後		2			1					
	保育内容の指導法(人間関係)	3前		2		1			1			
	保育内容の指導法(言葉)	3前		2		1	1					
	保育内容の指導法(音楽表現)	3前・後		2			2					
	保育内容の指導法(造形表現)	2後		2		1	1					
	保育内容の指導法(身体表現)	3前		2					1			
発達と臨床	保育・教育心理学	1前	2			1						
	生涯発達心理学	1後	2			1						
	保育・教育相談	3後		2		1						
	青年心理学	2・3前		2		1						
	乳幼児発達論	3・4前・後		2		2						
	発達臨床論	3・4前・後		2		1	1					
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2				1					
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後		2		1						
	社会福祉	1後		2		1						
	子ども家庭支援論	2前		2		1						
	社会的養護Ⅰ	2前		2		1						
	社会的養護Ⅱ	2後		2		1	1					
	子育て支援	2後		2			2					
	児童養護論	3・4前・後		2		1	1					
健康と運動	児童保健学	1後	2			1						
	子どもの健康と安全	2前		2		1						
	食と発達	2前		2							2	
	子どもと運動	2前		2		1						
	幼児運動論	3・4後		2		1						
	児童保健学各論	3・4後		2		1						
表現と文化	子どもと歌唱表現	2前	2				1					
	音楽表現基礎技能	1後		2			2				5	
	感じて表現(造形)	1前		2		1	0					
	考えて表現(造形)	1後		2		0		1				
	子どもと身体表現	2後		2				1			1	
	音楽表現応用	2・3前・後		1			2				6	
	造形発達と表現	2・3・4後		2		1	1					
	幼児音楽論	3・4前・後		2			2					
	造形保育論	3・4前・後		2		1	1					
	身体表現論	3・4後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
フィールドワーク（実習）	幼稚園教育実習総論	3・4通		2		5	4		1		
	幼稚園教育実習	4通		4		3	2		1		
	保育実習総論Ⅰ	3通		2		5	4		1		
	保育実習Ⅰ（保育所）	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習Ⅰ（施設）	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅱ	4前		1		5	4		1		
	保育実習Ⅱ	3・4通		2		3	2		1		
	保育実習総論Ⅲ	4前		1		3	2		1		
	保育実習Ⅲ	3・4通		2		3	2		1		
	保育インターンシップ	3・4通		2		5	4		1		
専門総合科目	保育・教職実践演習	4後		2		10	7	1	1		
	卒業研究	4通	4			10	7	1	1		
小計(76科目)		-	64	89	0	10	7	3	2	16	
合計(165科目)		-	72	216	0	10	7	3	2	104	
卒業要件及び履修方法											
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授5」「准教授3」「講師1」「助教1」から「教授10」「准教授6」「講師3」「助教1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。  
担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「教授1」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅰ」の教員配置を「講師1」「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師1」「兼任・兼任10」から「教授1」「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1a」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事Ⅰ)」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「児童学概論」の教員配置を、「教授6」「准教授7」「講師1」「助教1」から「教授6」「准教授6」「講師1」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「感じて表現(造形)」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「考えて表現(造形)」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。

**【令和3年度】**

- ・ 担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を「教授10」「准教授6」「講師3」「助教1」から「教授11」「准教授5」「講師4」「助教1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「入門ゼミナール」の教員配置を、「講師3」「助教1」から「講師4」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「准教授1」「兼任・兼任9」から「准教授0」「講師1」「兼任・兼任8」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「課題解決ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「地域と人間生活」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任3」から「教授1」「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の配当年次を、「2.3.4前後」から「2.3.4前」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任10」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「自主社会活動」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任0」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性の心と身体」の配当年次を、「1.2.3前後」から「1.2.3前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「食の科学」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「芸術を読むとる」の配当年次を、「2.3前後」から「2.3前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅰ」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼任2」から「講師0」「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師0」「兼任・兼任13」から「教授1」「講師1」「兼任・兼任12」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅰ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語Ⅱa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語Ⅱb」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎a」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

- ・教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。  
「英語コミュニケーション応用」の配当年次を、「1.2.3.4前後」から「1.2.3.4後」に変更。
- ・担当教員変更により、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「映画・ドラマ英語」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員変更により、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。  
教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1.2.3.4前」から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・担当教員変更により、「総合日本語Ib」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員変更により、「日本語研究A(時事I)」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員変更により、「日本語集中講座(編入)」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。  
教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「2.3.4前」から「1.2.3.4前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「キャリアデザイン入門」の教員配置を、「教授1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「キャリアロールモデル研究」の配当年次を、「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員変更により、「プロアクティブ人材育成」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員変更により、「キャリア基礎力I」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「児童学概論」の教員配置を、「教授6」「准教授6」「講師1」「助教1」から「教授5」「准教授5」「講師2」「助教1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ネイチャー・ワーク」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授0」「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「幼児教育基礎実習」の教員配置を、「教授3」「准教授1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「幼児教育基礎演習」の教員配置を、「教授3」「准教授1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保育者論」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「幼児教育学」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保育制度・保育政策論」の教員配置を、「助教1」から「教授1」「助教0」「兼任・兼任1」に変更。  
教育効果を考慮し、「保育制度・保育政策論」の配当年次を、「2前」から「2後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「特別支援教育概論」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「子どもの理解と援助」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「乳児保育I」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員変更により、「人間理解と人間関係」の教員配置を、「教授2」「准教授1」「助教1」から「教授2」「准教授1」「助教0」「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者の職位変更及び担当教員変更により、「表現総論」の教員配置を、「教授3」「准教授3」「講師1」から「教授4」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「保育内容の指導法(造形表現)」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授0」「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「児童保健学各論」の配当年次を、「3.4後」から「3.4前」に変更。
- ・担当者の職位変更前により、「音楽表現基礎技能」の教員配置を、「准教授2」「兼任・兼任5」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任5」に変更。
- ・担当教員変更により、「考えて表現(造形)」の教員配置を、「教授0」「講師1」から「教授0」「講師0」「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員変更により、「子どもと身体表現」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼任1」から「講師0」「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者の職位変更前及び担当教員変更により、「音楽表現応用」の教員配置を、「准教授2」「兼任・兼任6」から「教授1」「准教授1」「講師1」「兼任・兼任5」に変更。
- ・担当教員変更により、「造形発達と表現」の教員配置を、「教授1」「准教授1」から「教授0」「准教授0」「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	129 科目	科目	165 科目	36 科目 [ 0 ]	129 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	165 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は、各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ず、令和2年度に引き続き、令和3年度も未開講とし、学生に新総合教育システム（ユニバーサルパスポート）の掲示板機能を利用して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{165} = \boxed{0.6\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>			
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>			
合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	<p>学生の修学環境の見直しを行い、講義室、実験演習室の増、演習室の減(3)。</p> <p>学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)</p>		
	57室 55室 53室	47室 48室	29室 19室	8室 7室 (補助職員 一人)	7室 9室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			<p>【幼児教育】 新規採用者2名分2室増(3) 【文芸文化】 自己都合退職者1名分1室減(3)</p> <p>【幼児教育】 自己都合退職者1名分減(2)</p>		
	教育人文学部 幼児教育学科		22 20 24 室					
	教育人文学部 児童教育学科		16 室					
	教育人文学部 心理学科		13 室					
教育人文学部 文芸文化学科		12 13 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	<p>学術雑誌、視聴覚資料の増加は新規購入による。図書の減少は除籍による。(3)</p> <p>閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)</p>
	大学全体	189,906 [20,970] (172,591 [20,141]) <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] (706 [206]) <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] (19 [3]) <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 (4,566) <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)	
	計	189,906 [20,970] (172,591 [20,141]) <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] (706 [206]) <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] (19 [3]) <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 (4,566) <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)	
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	1,930 m <sup>2</sup>	391 345		150,722 146,639				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	3,253 m <sup>2</sup>	該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	<p>幼児教育学科 児童教育学科</p> <p>心理学科 文芸文化学科</p>
1,350千円		1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円		
学 生 納 付 金 以 外 の 維持 方法 の 概 要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学						学生募集 停止学科数	9	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	2	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.06	1.08	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.04	1.06	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.08	1.11	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.86	0.95	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.14	1.11	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.42	1.35	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.04	1.02	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.10	1.02	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	0.93	0.85	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	0.94	0.80	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.30	1.33	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.30	1.17	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.06	0.80	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.06	0.80	令和2	令和2	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活 学部 令和2年度より学 生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		
人間生活学研究科								-	-		
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.50	1.00	-	平成28		
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.40	0.00	-	平成22	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育人文学部 幼児教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大宮 明子 <令和2年4月> 博士(人間科学)	入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 卒業研究 保育・教職実践演習※ 乳幼児発達論 青年心理学 生涯発達心理学 児童学研究法※
専	教授	桶田 ゆかり <令和2年4月> 教職修士(専門職)	入門ゼミナール 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育者論 保育・教育課程論 子どもの理解と援助 保育実践論 子どもの生活と遊び※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	加藤 則子 <令和2年4月> 医学博士	入門ゼミナール 児童学概論※ 児童保健学 子どもの健康と安全 児童保健学各論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	上埜内 伸子 <令和2年4月> 家政学修士	入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 人間理解と人間関係※ 表現総論※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	潮谷 恵美 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	入門ゼミナール 児童学概論※ 子ども家庭福祉Ⅱ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	鈴木 康弘 <令和2年4月> 修士(教育学)	入門ゼミナール 身体運動※ 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(健康) 子どもと運動 幼児運動論 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大宮 明子 <令和2年4月> 博士(人間科学)	入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 乳幼児発達論 青年心理学 生涯発達心理学 児童学研究法※ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	桶田 ゆかり <令和2年4月> 教職修士(専門職)	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育者論 保育・教育課程論 子どもの理解と援助 保育実践論 子どもの生活と遊び※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	加藤 則子 <令和2年4月> 医学博士	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 児童保健学 子どもの健康と安全 児童保健学各論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	上埜内 伸子 <令和2年4月> 家政学修士	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 人間理解と人間関係※ 表現総論※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	潮谷 恵美 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	入門ゼミナール 児童学概論※ 子ども家庭福祉Ⅱ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	鈴木 康弘 <令和2年4月> 修士(教育学)	入門ゼミナール 身体運動※ 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(健康) 子どもと運動 幼児運動論 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大宮 明子 <令和2年4月> 博士(人間科学)	入門ゼミナール <b>キャリアデザイン入門</b> 児童学概論※ 児童学演習 乳幼児発達論 青年心理学 生涯発達心理学 児童学研究法※ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	桶田 ゆかり <令和2年4月> 教職修士(専門職)	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育者論 保育・教育課程論 子どもの理解と援助 保育実践論 子どもの生活と遊び※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>保育制度・保育政策論</b>
専	教授	加藤 則子 <令和2年4月> 医学博士	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 児童保健学 子どもの健康と安全 児童保健学各論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	上埜内 伸子 <令和2年4月> 家政学修士	入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 人間理解と人間関係※ 表現総論※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	潮谷 恵美 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	入門ゼミナール <b>キャリアデザイン入門</b> <b>児童学概論※</b> 児童学演習 子ども家庭福祉Ⅱ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	鈴木 康弘 <令和2年4月> 修士(教育学)	入門ゼミナール 身体運動※ <b>児童学概論※</b> 表現総論※ 保育内容の指導法(健康) 子どもと運動 幼児運動論 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 かた (ｽ) ﾏ ﾐ ﾏ ﾐ 長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 博士 (人文科学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 児童学研究法※ 保育・教育心理学 乳幼児発達論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	かち び ｱ ﾉ 名達 英語 <令和2年4月> 修士 (芸術学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現総論※ 保育内容の指導法 (造形表現) 考えて表現 (造形) 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	ｶ ﾐ ﾐ ( ﾗ ﾏ ﾐ ) ﾐ ﾐ 向井 (木村) 美穂 <令和2年4月> 修士 (家政学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 保育・教育相談 発達臨床論 子ども家庭支援論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	ﾏ ﾏ ﾉ ﾉ ﾏ ﾐ 山田 陽子 <令和2年4月> 学校教育学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 人間関係ワークショップ 子育てと環境 キャリアデザイン入門 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 特別支援教育概論 障がい保育 保育臨床学 人間関係と人間関係※ 保育内容の指導法 (人間関係) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ﾆ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 二宮 紀子 <令和2年4月> 芸術学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法 (音楽表現) 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ｶ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 権 明愛 <令和2年4月> 博士 (社会福祉学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 特別支援教育概論 障がい保育 発達臨床論 子育て支援 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 かた (ｽ) ﾏ ﾐ ﾏ ﾐ 長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 博士 (人文科学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 児童学研究法※ 保育・教育心理学 乳幼児発達論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	かち び ｱ ﾉ 名達 英語 <令和2年4月> 修士 (芸術学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現総論※ 保育内容の指導法 (造形表現) 考えて表現 (造形) 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>感じて表現 (造形)</b>
専	教授	ｶ ﾐ ﾐ ( ﾗ ﾏ ﾐ ) ﾐ ﾐ 向井 (木村) 美穂 <令和2年4月> 修士 (家政学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 保育・教育相談 発達臨床論 子ども家庭支援論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	ﾏ ﾏ ﾉ ﾉ ﾏ ﾐ 山田 陽子 <令和2年4月> 学校教育学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 人間関係ワークショップ 子育てと環境 キャリアデザイン入門 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 特別支援教育概論 障がい保育 保育臨床学 人間関係と人間関係※ 保育内容の指導法 (人間関係) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ﾆ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 二宮 紀子 <令和2年4月> 芸術学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法 (音楽表現) 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ｶ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 権 明愛 <令和2年4月> 博士 (社会福祉学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 特別支援教育概論 障がい保育 発達臨床論 子育て支援 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 かた (ｽ) ﾏ ﾐ ﾏ ﾐ 長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 博士 (人文科学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 子育てと環境 <b>児童学概論※</b> 児童学演習 児童学研究法※ 保育・教育心理学 乳幼児発達論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	かち び ｱ ﾉ 名達 英語 <令和2年4月> 修士 (芸術学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現総論※ 保育内容の指導法 (造形表現) 考えて表現 (造形) 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>感じて表現 (造形)</b>
専	教授	ｶ ﾐ ﾐ ( ﾗ ﾏ ﾐ ) ﾐ ﾐ 向井 (木村) 美穂 <令和2年4月> 修士 (家政学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール <b>児童学概論※</b> 保育・教育相談 発達臨床論 子ども家庭支援論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	教授	ﾏ ﾏ ﾉ ﾉ ﾏ ﾐ 山田 陽子 <令和2年4月> 学校教育学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 人間関係ワークショップ 子育てと環境 キャリアデザイン入門 <b>児童学概論※</b> 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 特別支援教育概論 障がい保育 保育臨床学 人間関係と人間関係※ 保育内容の指導法 (人間関係) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ﾆ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 二宮 紀子 <令和2年4月> 芸術学修士
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法 (音楽表現) 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ｶ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ ﾐ 権 明愛 <令和2年4月> 博士 (社会福祉学)
		担当授業科目名 入門ゼミナール 児童学概論※ 特別支援教育概論 障がい保育 発達臨床論 子育て支援 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 保育実習Ⅰ (施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	スズキ 晴子 <令和2年4月> 修士(心理学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 子ども家庭福祉Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ノノ 麻紀 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 保育臨床学 子どもの生活と遊び※ 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(環境) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ミヤノ 周 <令和2年4月> 博士(学校教育学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現総論※ 保育内容の指導法(造形表現) 感じて表現(造形) 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ヤマザキ シンイチ 数崎 伸一郎 <令和2年4月> 修士(音楽)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(音楽表現) 子どもと歌唱表現 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ヨコイ(ワタリ) ヒロコ 横井(服部) 絃子 <令和2年4月> 修士(人文科学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 保育学 子どもの生活と遊び※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	講師	イシノ 充 <令和2年4月> 修士(社会科学)
		入門ゼミナール 児童学概論 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 乳児保育Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	スズキ 晴子 <令和2年4月> 修士(心理学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 子ども家庭福祉Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ノノ 麻紀 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 保育臨床学 子どもの生活と遊び※ 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(環境) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>讀書入門ゼミナール</b>
専	准教授	ヤマザキ シンイチ 数崎 伸一郎 <令和2年4月> 修士(音楽)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(音楽表現) 子どもと歌唱表現 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ヨコイ(ワタリ) ヒロコ 横井(服部) 絃子 <令和2年4月> 修士(人文科学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 保育学 子どもの生活と遊び※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	講師	イシノ 充 <令和2年4月> 修士(社会科学)
		入門ゼミナール 児童学概論 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 乳児保育Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	スズキ 晴子 <令和2年4月> 修士(心理学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 子ども家庭福祉Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 児童養護論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ノノ 麻紀 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 保育臨床学 子どもの生活と遊び※ 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(環境) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>讀書入門ゼミナール</b>
専	准教授	ヤマザキ シンイチ 数崎 伸一郎 <令和2年4月> 修士(音楽)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(音楽表現) 子どもと歌唱表現 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	ヨコイ(ワタリ) ヒロコ 横井(服部) 絃子 <令和2年4月> 修士(人文科学)
		入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 保育学 子どもの生活と遊び※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	講師	イシノ 充 <令和2年4月> 修士(社会科学)
		入門ゼミナール 児童学概論 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 子どもの理解と援助 乳児保育Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	ワサハ 加エ 渡邊 孝枝 <令和2年4月> 修士(人文科学)
		入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 児童学概論※ 子どもの生活と遊び※ 表現総論※ 保育内容の指導法(身体表現) 子どもと身体表現※ 身体表現論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウ キコ 近藤 有紀子 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実践論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	ロ ショウ 呂 小転 <令和2年4月> 博士(教育学)
		幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ
兼任	教授	アツチ 一寿 安達 一寿 <令和2年4月> 博士(教育学)
		コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼任	教授	イフ 叻 飯田 路佳 <令和2年4月> 修士(体育学)
		女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼任	教授	イガウ シゲキ 池川 繁樹 <令和3年4月> 博士(医学)
		地域と人間生活
兼任	教授	イワ リヨコ 池間 里代子 <令和2年4月> 文学修士
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
兼任	教授	イノ イイチ 石野 栄一 <令和2年4月> 法学士
		地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	ミヅウ ユメ 水島 ゆめ <令和2年4月> 修士(芸術表現)
		入門ゼミナール 考えて表現(造形)
専	助教	コトウ キコ 近藤 有紀子 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実践論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウ キコ 近藤 有紀子 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実践論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	ロ ショウ 呂 小転 <令和2年4月> 博士(教育学)
		幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ
兼任	教授	アツチ 一寿 安達 一寿 <令和2年4月> 博士(教育学)
		コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼任	教授	イフ 叻 飯田 路佳 <令和2年4月> 修士(体育学)
		女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼任	教授	イガウ シゲキ 池川 繁樹 <令和3年4月> 博士(医学)
		地域と人間生活
兼任	教授	イワ リヨコ 池間 里代子 <令和2年4月> 文学修士
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
兼任	教授	イノ イイチ 石野 栄一 <令和2年4月> 法学士
		地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	ツチ ユ 土屋 由 <令和3年4月> 家政学修士
		入門ゼミナール 保育学概論 幼児教育学
専	講師	ミヅウ ユメ 水島 ゆめ <令和2年4月> 修士(芸術表現)
		入門ゼミナール 考えて表現(造形) 児童学概論 ネイチャー・ワーク 表現総論 保育内容の指導法(造形表現) 造形発達と表現
専	講師	ワサハ 加エ 渡邊 孝枝 <令和2年4月> 修士(人文科学)
		入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 児童学概論※ 子どもの生活と遊び※ 表現総論※ 保育内容の指導法(身体表現) 子どもと身体表現※ 身体表現論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウ キコ 近藤 有紀子 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実践論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウ キコ 近藤 有紀子 <令和2年4月> 修士(教育学)
		入門ゼミナール 子育てと環境 キャリアデザイン入門 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実践論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	ロ ショウ 呂 小転 <令和2年4月> 博士(教育学)
		幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ
兼任	教授	アツチ 一寿 安達 一寿 <令和2年4月> 博士(教育学)
		コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼任	教授	イフ 叻 飯田 路佳 <令和2年4月> 修士(体育学)
		女性の心と身体 身体運動Ⅱ 地域と人間生活
兼任	教授	イガウ シゲキ 池川 繁樹 <令和3年4月> 博士(医学)
		地域と人間生活
兼任	教授	イワ リヨコ 池間 里代子 <令和2年4月> 文学修士
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
兼任	教授	イノ イイチ 石野 栄一 <令和2年4月> 法学士
		地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 由紀子 <令和2年4月> 文学修士 キャリアデザインとライフプラン
兼任	教授	片居木 英人 <令和2年4月> 政治学修士 ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
兼任	教授	狩野 浩二 <令和2年4月> 修士(教育学) 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学 総合科目
兼任	教授	北原 俊一 <令和2年4月> 博士(理学) 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	向後 (田中) 朋美 <令和2年4月> 文学修士 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング
兼任	教授	齋藤 忍 <令和3年4月> 教育学修士 人間理解ワークショップ
兼任	教授	佐藤 陽 <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ボランティア論
兼任	教授	設楽 (松尾) 優子 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石山 隆之 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学) 総合科目 身体運動Ⅱ
兼任	教授	大友 由紀子 <令和2年4月> 文学修士 キャリアデザインとライフプラン
兼任	教授	風間 文明 <令和2年4月> 修士(心理学) 自主社会活動
兼任	教授	片居木 英人 <令和2年4月> 政治学修士 ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
兼任	教授	狩野 浩二 <令和2年4月> 修士(教育学) 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学 総合科目
兼任	教授	北原 俊一 <令和2年4月> 博士(理学) 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	向後 (田中) 朋美 <令和2年4月> 文学修士 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング
兼任	教授	佐藤 陽 <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ボランティア論
兼任	教授	設楽 (松尾) 優子 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンス・リーディング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石山 隆之 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学) 総合科目 身体運動Ⅱ
兼任	教授	大友 賢也 <令和3年4月> 農学博士 総合科目
兼任	教授	岡本 明博 <令和3年4月> 修士(リハビリテーション) 特別支援教育概論
兼任	教授	大友 由紀子 <令和2年4月> 文学修士 キャリアデザインとライフプラン
兼任	教授	風間 文明 <令和2年4月> 修士(心理学) 自主社会活動
兼任	教授	片居木 英人 <令和2年4月> 政治学修士 ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
兼任	教授	狩野 浩二 <令和2年4月> 修士(教育学) 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学 総合科目
兼任	教授	北原 俊一 <令和2年4月> 博士(理学) 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	向後 (田中) 朋美 <令和2年4月> 文学修士 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b
兼任	教授	佐藤 陽 <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ボランティア論
兼任	教授	設楽 (松尾) 優子 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンス・リーディング



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	
兼任	教授	シー クリフ sheila Cliffe <令和2年4月> Ph.D.(英国) コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語
兼任	特任教授	タカ 和成 高谷 和成 <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活
兼任	教授	タケ 田倉 昭 田倉 昭 <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎力I
兼任	教授	タケ 榎谷 祐一 榎谷 祐一 <令和2年4月> 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎力II
兼任	教授	タケ 田総 恵子 田総 恵子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy(米国) 持続可能な社会
兼任	教授	ツノ 角田 真二 角田 真二 <令和2年4月> 工学修士 読書入門ゼミナール 情報処理演習I 情報処理演習II
兼任	教授	ヒガチ 樋口 一貴 樋口 一貴 <令和2年4月> 修士(美学) 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	
兼任	教授	シー クリフ sheila Cliffe <令和2年4月> Ph.D.(英国) <b>コミュニケーション演習</b> 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 <b>英語Ia</b> <b>英語Ib</b> <b>アドバンスト・ライティング</b>
兼任	特任教授	タカ 和成 高谷 和成 <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活
兼任	教授	タケ 田倉 昭 田倉 昭 <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎力I
兼任	特任教授	タケ 竹之内 修 竹之内 修 <令和2年4月> 文学士 <b>コミュニケーション演習</b>
兼任	教授	タケ 榎谷 祐一 榎谷 祐一 <令和2年4月> 芸術学修士 <b>読書入門ゼミナール</b> キャリア基礎力II
兼任	教授	タケ 田総 恵子 田総 恵子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy(米国) 持続可能な社会
兼任	教授	ツノ 角田 真二 角田 真二 <令和2年4月> 工学修士 <b>読書入門ゼミナール</b> 情報処理演習I 情報処理演習II
兼任	教授	ナカニ 中西 郁 中西 郁 <令和3年4月> 修士(教育学) 特別支援教育概論
兼任	教授	ナカニ 中山 威夫 中山 威夫 <令和3年4月> 経済学士 総合科目
兼任	教授	ナカニ 名倉 勇子 名倉 勇子 <令和2年4月> 博士(学術) 総合科目
兼任	教授	ナカニ 羽田 邦弘 羽田 邦弘 <令和2年4月> 修士(教授システム学) <b>課題解決ゼミナール</b> 総合科目 21世紀型の教育
兼任	教授	ヒガチ 樋口 一貴 樋口 一貴 <令和2年4月> 修士(美学) <b>読書入門ゼミナール</b> 芸術を読みとる

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	
兼任	教授	シー クリフ sheila Cliffe <令和2年4月> Ph.D.(英国)
兼任	特任教授	タカ 和成 高谷 和成 <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活
兼任	教授	タケ 田倉 昭 田倉 昭 <令和3年4月> 博士(理学) <b>キャリア基礎力I</b>
兼任	特任教授	タケ 竹之内 修 竹之内 修 <令和2年4月> 文学士 <b>コミュニケーション演習</b> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション応用
兼任	教授	タケ 榎谷 祐一 榎谷 祐一 <令和2年4月> 芸術学修士 <b>読書入門ゼミナール</b> キャリア基礎力I キャリア基礎力II
兼任	教授	タケ 田総 恵子 田総 恵子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy(米国) 持続可能な社会
兼任	教授	ツノ 角田 真二 角田 真二 <令和2年4月> 工学修士 <b>読書入門ゼミナール</b> 情報処理演習I 情報処理演習II
兼任	教授	ナカニ 中西 郁 中西 郁 <令和3年4月> 修士(教育学) 特別支援教育概論
兼任	教授	ナカニ 中山 威夫 中山 威夫 <令和3年4月> 経済学士 総合科目
兼任	教授	ナカニ 名倉 勇子 名倉 勇子 <令和2年4月> 博士(学術) 総合科目
兼任	教授	ナカニ 羽田 邦弘 羽田 邦弘 <令和2年4月> 修士(教授システム学) <b>課題解決ゼミナール</b> 総合科目 21世紀型の教育
兼任	教授	ヒガチ 樋口 一貴 樋口 一貴 <令和2年4月> 修士(美学) <b>読書入門ゼミナール</b> 芸術を読みとる

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヒラ ヒラ 平田 智秋 <令和2年4月> 博士(体育科学) 身体運動Ⅱ
兼任	教授	フセ ハルミ 布施 晴美 <令和2年4月> 修士(人間工学) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼任	教授	ホノ アツ 星野 敦子 <令和2年4月> 博士(学術) 地域で学ぶ 教育方法 総合科目
兼任	教授	マツカ 彰明 松岡 彰明 <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション演習
兼任	教授	マツカ シュウイチ 松永 修一 <令和2年4月> 修士(文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼任	教授	マツモト 晃子 松本 晃子 <令和2年4月> 修士(家政学) キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼任	教授	ヤマモト 悟 山本 悟 <令和2年4月> 体育学修士 身体運動Ⅱ
兼任	教授	ヨシダ 亨 吉田 亨 <令和2年4月> 保健学博士 地域と人間生活 共生社会入門
兼任	教授	ヨシモト 恵 好本 恵 <令和2年4月> 文学士 読書入門ゼミナール
兼任	教授	ツバキ 雅康 綿井 雅康 <令和2年4月> 教育学修士 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
兼任	准教授	アベ(コガネ) 史 阿部(神崎) 史 <令和2年4月> 修士(法学) リーガルリテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヒラ ヒラ 平田 智秋 <令和2年4月> 博士(体育科学) 身体運動Ⅱ
兼任	教授	フセ ハルミ 布施 晴美 <令和2年4月> 修士(人間工学) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼任	教授	ホノ アツ 星野 敦子 <令和2年4月> 博士(学術) 地域で学ぶ 教育方法 総合科目
兼任	教授	マツカ 彰明 松岡 彰明 <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション演習
兼任	教授	マツカ シュウイチ 松永 修一 <令和2年4月> 修士(文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼任	教授	マツモト 晃子 松本 晃子 <令和2年4月> 修士(家政学) キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼任	教授	ヤマモト 悟 山本 悟 <令和2年4月> 体育学修士 身体運動Ⅱ
兼任	教授	ヨシダ 亨 吉田 亨 <令和2年4月> 保健学博士 地域と人間生活 共生社会入門
兼任	教授	ヨシモト 恵 好本 恵 <令和2年4月> 文学士 読書入門ゼミナール
兼任	教授	ツバキ 雅康 綿井 雅康 <令和2年4月> 教育学修士 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヒラ ヒラ 平田 智秋 <令和2年4月> 博士(体育科学) 身体運動Ⅱ
兼任	教授	フセ ハルミ 布施 晴美 <令和2年4月> 修士(人間工学) 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼任	教授	ホノ アツ 星野 敦子 <令和2年4月> 博士(学術) 地域で学ぶ 教育方法 総合科目 保育制度・保育政策論
兼任	教授	ホシノ 聡司 細谷 聡司 <令和3年4月> 教育学修士 人間理解ワークショップ
兼任	教授	マツカ 彰明 松岡 彰明 <令和2年4月> 文学士 コミュニケーション演習
兼任	教授	マツカ シュウイチ 松永 修一 <令和2年4月> 修士(文学) 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼任	教授	マツモト 晃子 松本 晃子 <令和2年4月> 修士(家政学) キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼任	教授	ヤマモト 悟 山本 悟 <令和2年4月> 体育学修士 身体運動Ⅱ
兼任	教授	ヨシダ 亨 吉田 亨 <令和2年4月> 保健学博士 地域と人間生活 共生社会入門
兼任	教授	ヨシモト 恵 好本 恵 <令和2年4月> 文学士 読書入門ゼミナール
兼任	教授	ツバキ 雅康 綿井 雅康 <令和2年4月> 教育学修士 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	7ㄱ ㄱㄱㄱ 綾井 桜子 <令和2年4月> 博士(教育学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 石川 敬史 <令和2年4月> 修士(図書館情報学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 落合 真裕 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼任	准教授	ㄱㄱ / ㄱㄱㄱ 梶野 涼子 <令和3年4月> 修士(栄養学) 食の科学
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 加藤 暁子 <令和3年4月> 修士(コミュニケーション学) 課題解決ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱㄱ 加藤 亮介 <令和2年4月> 博士(芸術学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱㄱ 川口 英俊 <令和2年4月> 修士(法学) 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 久保田 葉子 <令和2年4月> konzertdiplom(ドイツ) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 古明地 夕佳 <令和3年4月> 博士(学術) 地域と人間生活
兼任	教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 杉元 葉子 <令和3年4月> 工学修士 課題解決ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	7ㄱ ㄱㄱㄱ 綾井 桜子 <令和2年4月> 博士(教育学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 飯村 九林 <令和2年4月> 博士(水産科学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 石川 敬史 <令和2年4月> 修士(図書館情報学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ (ㄱㄱㄱ) ㄱㄱ 石田(今村) 有理 <令和2年4月> 博士(人文科学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 落合 真裕 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼任	准教授	ㄱㄱ / ㄱㄱㄱ 梶野 涼子 <令和3年4月> 修士(栄養学) 食の科学
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 加藤 亮介 <令和2年4月> 博士(芸術学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱㄱ 川口 英俊 <令和2年4月> 修士(法学) 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 久保田 葉子 <令和2年4月> konzertdiplom(ドイツ) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 古明地 夕佳 <令和3年4月> 博士(学術) 地域と人間生活
兼任	教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 杉元 葉子 <令和2年4月> 工学修士 課題解決ゼミナール 総合科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	7ㄱ ㄱㄱㄱ 綾井 桜子 <令和2年4月> 博士(教育学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 飯村 九林 <令和2年4月> 博士(水産科学) 読書入門ゼミナール 総合科目
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 石川 敬史 <令和2年4月> 修士(図書館情報学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ (ㄱㄱㄱ) ㄱㄱ 石田(今村) 有理 <令和2年4月> 博士(人文科学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 落合 真裕 <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼任	准教授	ㄱㄱ / ㄱㄱㄱ 梶野 涼子 <令和3年4月> 修士(栄養学) 食の科学 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 加藤 亮介 <令和2年4月> 博士(芸術学) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 神山 真澄 <令和3年4月> 博士(理学) 総合科目 食の科学
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱㄱ 川口 英俊 <令和2年4月> 修士(法学) 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 久保田 葉子 <令和2年4月> konzertdiplom(ドイツ) 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 古明地 夕佳 <令和3年4月> 博士(学術) 地域と人間生活
兼任	教授	ㄱㄱㄱ ㄱㄱ 杉元 葉子 <令和2年4月> 工学修士 課題解決ゼミナール 総合科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	トウノ ユウコ 徳野 裕子 <令和2年4月> 修士(学術)
兼任	准教授	ホシノ ユキコ 星野 祐子 <令和2年4月> 博士(人文科学)
兼任	准教授	ミツノ アサミ 三藤 あさみ <令和2年4月> 修士(教育学)
兼任	講師	イナガキ トモキ 稲田 朋晃 <令和2年4月> 博士(学術)
兼任	講師	カネダ シンペイ 神田 俊平 <令和2年4月> 修士(体育科学)
兼任	講師	キウノ ユウコ 仇 暁芸 <令和2年4月> 博士(国際文化)
兼任	講師	トリコシ シンゴ 鳥越 信吾 <令和2年4月> 博士(社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フクダ ニ 福田 仁 <令和2年4月> 英語学修士
兼任	准教授	トウノ ユウコ 徳野 裕子 <令和2年4月> 修士(学術)
兼任	准教授	ホシノ ユキコ 星野 祐子 <令和2年4月> 博士(人文科学)
兼任	准教授	ミツノ アサミ 三藤 あさみ <令和2年4月> 修士(教育学)
兼任	講師	イナガキ トモキ 稲田 朋晃 <令和2年4月> 博士(学術)
兼任	講師	カネダ シンペイ 神田 俊平 <令和2年4月> 修士(体育科学)
兼任	講師	キウノ ユウコ 仇 暁芸 <令和2年4月> 博士(国際文化)
兼任	講師	トリコシ シンゴ 鳥越 信吾 <令和2年4月> 博士(社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フクダ ニ 福田 仁 <令和2年4月> 英語学修士
兼任	准教授	トウノ ユウコ 徳野 裕子 <令和2年4月> 修士(学術)
兼任	准教授	ホシノ ユキコ 星野 祐子 <令和2年4月> 博士(人文科学)
兼任	准教授	ミツノ アサミ 三藤 あさみ <令和2年4月> 修士(教育学)
兼任	講師	イナガキ トモキ 稲田 朋晃 <令和2年4月> 博士(学術)
兼任	講師	カネダ シンペイ 神田 俊平 <令和2年4月> 修士(体育科学)
兼任	講師	キウノ ユウコ 仇 暁芸 <令和2年4月> 博士(国際文化)
兼任	講師	トリコシ シンゴ 鳥越 信吾 <令和2年4月> 博士(社会学)
兼任	講師	チナガキ ナカ 中岡 加奈絵 <令和2年4月> 修士(家政学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ニジマ ヨシ 新嶋 良恵 <令和2年4月> 修士(社会学) 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ミヨ ヒデヒコ 見吉 英彦 <令和2年4月> 博士(経営学) 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ヤマタ ヨシノ 山下 悠貴乃 <令和2年4月> 修士(国際学) 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座(編入)※
兼任	講師	ワカノ キョウコ 若葉 京良 <令和2年4月> 博士(スポーツ医学) 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ワタナベ マサ 渡辺 章夫 <令和2年4月> 博士(農学) 地域と人間生活
兼任	助教	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) 地域と人間生活
兼任	助教	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) 食と発達

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ニジマ ヨシ 新嶋 良恵 <令和2年4月> 修士(社会学) 読書入門ゼミナール <b>グローバル社会</b>
兼任	講師	ノダ ヒデヨ 野田 日出子 <令和2年4月> 修士(保育学) 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ミヨ ヒデヒコ 見吉 英彦 <令和2年4月> 博士(経営学) 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ヤマタ ヨシノ 山下 悠貴乃 <令和2年4月> 修士(国際学) 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座(編入)※ <b>日本語表現技術Ⅱ</b> <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b>
兼任	講師	ワカノ キョウコ 若葉 京良 <令和2年4月> 博士(スポーツ医学) 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ワタナベ マサ 渡辺 章夫 <令和2年4月> 博士(農学) 読書入門ゼミナール
兼任	助教	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) 地域と人間生活
兼任	助教	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) 食と発達
兼任	講師	アキヤマ マキコ 秋山 まき子 <令和2年4月> 修士(言語学TESOL, 言語学 音声学) TOEIC対策講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ニジマ ヨシ 新嶋 良恵 <令和2年4月> 修士(社会学) 読書入門ゼミナール <b>グローバル社会</b>
兼任	講師	ノダ ヒデヨ 野田 日出子 <令和2年4月> 修士(保育学) 読書入門ゼミナール
兼任	講師	マサノ 早穂子 増田 早穂子 <令和3年4月> 博士(心理学) 人間理解ワークショップ
兼任	講師	ミヨ ヒデヒコ 見吉 英彦 <令和2年4月> 博士(経営学) 読書入門ゼミナール <b>企業に学ぶキャリアデザイン</b>
兼任	講師	ヤマタ ヨシノ 山下 悠貴乃 <令和2年4月> 修士(国際学) 総合日本語Ⅰb <b>総合日本語Ⅱb</b> 総合日本語Ⅲb <b>日本語表現技術Ⅰ</b> <b>日本語表現技術Ⅲ</b> <b>日本語集中講座(編入)※</b> <b>日本語表現技術Ⅱ</b> <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b>
兼任	講師	ワカノ キョウコ 若葉 京良 <令和2年4月> 博士(スポーツ医学) 身体運動Ⅱ <b>地域と人間生活</b>
兼任	講師	ヤチノ 八織 八織 晶子 <令和3年4月> 修士(体育学) 総合科目
兼任	講師	ワタナベ マサ 渡辺 章夫 <令和2年4月> 博士(農学) 読書入門ゼミナール <b>地域と人間生活</b>
兼任	助教	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) 地域と人間生活
兼任	講師	ウツカ ミチ 倉若 美映樹 <令和3年4月> 修士(栄養学) <b>食と発達</b>
兼任	助教	ササノ 沙恵子 菅原 沙恵子 <令和3年4月> 博士(農学) 食の科学
兼任	講師	アキヤマ マキコ 秋山 まき子 <令和2年4月> 修士(言語学TESOL, 言語学 音声学) TOEIC対策講座

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ｱﾝﾈ ﾋﾛｼｷ 安達 宏之 <令和2年4月> 法学修士 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	ｲﾁﾉ ｼﾞｺ 市川 節子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	ﾁﾊﾞ ﾏﾞｼ 藤原 淳 <令和2年4月> 博士(医学) 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ｶｸｲ ﾊﾙｺ 加倉井 佳世子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	ｶﾄﾞ ﾊﾙ 加藤 薫 <令和2年4月> 文学修士 日本語研究A(時事Ⅰ) 日本語研究B(時事Ⅱ)
兼任	講師	ｶﾝｶﾞ ﾏﾞｺ 金勝 裕子 <令和3年4月> 芸術学士 音楽表現応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ｱﾝﾈ ﾋﾛｼｷ 安達 宏之 <令和2年4月> 法学修士 多様性と倫理 <b>くらしのなかの日本国憲法</b>
兼任	講師	ｲﾁﾉ ｼﾞｺ 市川 節子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	ﾁﾊﾞ ﾏﾞｼ 藤原 淳 <令和2年4月> 博士(医学) 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ｶｸｲ ﾊﾙｺ 加倉井 佳世子 <令和2年4月> 芸術学士 <b>音楽表現基礎技能</b> 音楽表現応用
兼任	講師	ｶﾄﾞ ﾊﾙ 加藤 薫 <令和2年4月> 文学修士 <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b> 日本語研究B(時事Ⅱ)
兼任	講師	ｶﾝｶﾞ ﾏﾞｺ 金勝 裕子 <令和3年4月> 芸術学士 音楽表現応用
兼任	講師	ｶﾝｺ ﾋﾛｼｷ 金子 和正 <令和2年4月> 体育学修士 <b>女性の心と身体</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ｱﾝﾈ ﾋﾛｼｷ 安達 宏之 <令和2年4月> 法学修士 多様性と倫理 <b>くらしのなかの日本国憲法</b>
兼任	講師	ｱﾗ ﾏｸ 荒井(田中) あさ香 <令和3年4月> 修士(国際学) <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b>
兼任	講師	ｲﾊ ﾋﾛ 池辺 早良 <令和3年4月> 修士(文学) <b>TOEIC対策講座</b>
兼任	講師	ｲﾁﾉ ｼﾞｺ 市川 節子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	ｲﾁ ﾋﾛ 白井 直也 <令和3年4月> 修士(言語・地域文化) <b>日本語表現技術Ⅰ</b> <b>日本語表現技術Ⅱ</b>
兼任	講師	ｲ ﾏﾞﾐ 宇野 和 <令和3年4月> 修士(人文科学) <b>日本語検定対策講座</b>
兼任	講師	ﾁﾊﾞ ﾏﾞｼ 藤原 淳 <令和2年4月> 博士(医学) 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ﾁﾊﾞ ﾏﾞｺ 大友 彩子 <令和3年4月> M.A.(濠州) <b>アドバンスト・リスニング</b>
兼任	講師	ｺ ﾏｸ 小笠原 典子 <令和2年4月> 文学学士 法学学士 <b>日本語能力試験対策講座Ⅰ</b> <b>日本語能力試験対策講座Ⅱ</b>
兼任	講師	ｶｸｲ ﾊﾙｺ 加倉井 佳世子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	ｶﾄﾞ ﾊﾙ 加藤 薫 <令和2年4月> 文学修士 <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b> 日本語研究B(時事Ⅱ)
兼任	講師	ｶﾝｶﾞ ﾏﾞｺ 金勝 裕子 <令和3年4月> 芸術学士 音楽表現応用
兼任	講師	ｶﾝｺ ﾋﾛｼｷ 金子 和正 <令和2年4月> 体育学修士 <b>女性の心と身体</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	柳原 理枝子 <令和2年4月> 文学修士	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b
兼任 講師	寒河 江芳枝 <令和3年4月> 博士(子ども学)	乳児保育 I 乳児保育 II
兼任 講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 体育学士	身体運動 II
兼任 講師	澤野 次郎 <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	災害と社会
兼任 講師	清水 文子 <令和2年4月> 学士(体育学)	身体運動 II
兼任 講師	清水 真理子 <令和2年4月> 芸術学士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	鈴木 瑛貴 <令和2年4月> 修士(人文科学)	子どもと身体表現※
兼任 講師	谷 洋子 <令和2年4月> M.S.Ed.(米国)	アドバンスト・リーディング
兼任 講師	千足 耕一 <令和2年4月> 博士(医学)	身体運動 II
兼任 講師	曹 喜 <令和2年4月> 修士(日本文学)	朝鮮語 I a 朝鮮語 I b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	川口 かしみ <令和2年4月> 修士(学術)	リーガルリテラシー
兼任 講師	藤原 麗子 <令和2年4月> 医学博士	女性と健康
兼任 講師	柳原 理枝子 <令和2年4月> 文学修士	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b
兼任 講師	寒河 江芳枝 <令和3年4月> 博士(子ども学)	乳児保育 I 乳児保育 II
兼任 講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 体育学士	身体運動 II
兼任 講師	澤野 次郎 <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	災害と社会
兼任 講師	清水 文子 <令和2年4月> 学士(体育学)	身体運動 II
兼任 講師	清水 真理子 <令和2年4月> 芸術学士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	鈴木 瑛貴 <令和2年4月> 修士(人文科学)	子どもと身体表現※
兼任 講師	谷 洋子 <令和2年4月> M.S.Ed.(米国)	アドバンスト・リーディング <b>TOEIC対策講座</b>
兼任 講師	千足 耕一 <令和2年4月> 博士(医学)	身体運動 II
兼任 講師	曹 喜 <令和2年4月> 修士(日本文学)	朝鮮語 I a 朝鮮語 I b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	川口 かしみ <令和2年4月> 修士(学術)	リーガルリテラシー
兼任 講師	木内 祥太 <令和3年4月> 文学修士	英語 I a 英語 I b
兼任 講師	藤原 麗子 <令和2年4月> 医学博士	女性と健康
兼任 講師	柳原 理枝子 <令和2年4月> 文学修士	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b 映画・ドラマ英語
兼任 講師	寒河 江芳枝 <令和3年4月> 博士(子ども学)	乳児保育 I 乳児保育 II
兼任 講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 体育学士	身体運動 II
兼任 講師	澤野 次郎 <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	災害と社会
兼任 講師	清水 文子 <令和2年4月> 学士(体育学)	身体運動 II
兼任 講師	清水 真理子 <令和2年4月> 芸術学士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	鈴木 瑛貴 <令和2年4月> 修士(人文科学)	子どもと身体表現※
兼任 講師	谷 洋子 <令和2年4月> M.S.Ed.(米国)	アドバンスト・リーディング <b>TOEIC対策講座</b>
兼任 講師	千足 耕一 <令和2年4月> 博士(医学)	身体運動 II
兼任 講師	曹 喜 <令和2年4月> 修士(日本文学)	朝鮮語 I a 朝鮮語 I b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	中島 紀子 <令和2年4月> 修士(文学)	日本語研究 F (人文科学)
兼任 講師	名見耶 厚 <令和2年4月> 博士(情報学)	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任 講師	二宮 穰 <令和3年4月> 理学修士	子どもと自然
兼任 講師	橋本 千鶴 <令和2年4月> 教育研究科学修士	言語文化表現
兼任 講師	浜野 範子 <令和2年4月> 芸術学修士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	深澤 進 <令和2年4月> 修士(学術)	ネットワーク社会
兼任 講師	藤生 栄一郎 <令和2年4月> 修士(体育学)	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	土井 善晴 <令和2年4月> 教育学士	総合科目
兼任 講師	時松 史子 <令和2年4月> 人文科学修士	中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
兼任 講師	蓮舞 尚代 <令和2年4月> 海洋科学博士	身体運動Ⅱ
兼任 講師	中島 紀子 <令和2年4月> 修士(文学)	日本語研究 F (人文科学)
兼任 講師	長渡 陽一 <令和2年4月> 言語学博士	朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任 講師	名見耶 厚 <令和2年4月> 博士(情報学)	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任 講師	仁科 幸 <令和2年4月> 修士(人文科学)	身体運動Ⅱ
兼任 講師	二宮 穰 <令和3年4月> 理学修士	子どもと自然
兼任 講師	橋本 千鶴 <令和2年4月> 教育研究科学修士	言語文化表現
兼任 講師	浜野 範子 <令和2年4月> 芸術学修士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	深澤 進 <令和2年4月> 修士(学術)	ネットワーク社会
兼任 講師	藤生 栄一郎 <令和2年4月> 修士(体育学)	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師	土井 善晴 <令和2年4月> 教育学士	総合科目
兼任 講師	時松 史子 <令和2年4月> 人文科学修士	中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
兼任 講師	蓮舞 尚代 <令和2年4月> 海洋科学博士	身体運動Ⅱ
兼任 講師	中島 紀子 <令和2年4月> 修士(文学)	日本語研究 F (人文科学)
兼任 講師	長渡 陽一 <令和2年4月> 言語学博士	朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任 講師	名見耶 厚 <令和2年4月> 博士(情報学)	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任 講師	仁科 幸 <令和2年4月> 修士(人文科学)	身体運動Ⅱ
兼任 講師	二宮 穰 <令和3年4月> 理学修士	子どもと自然
兼任 講師	橋本 千鶴 <令和2年4月> 教育研究科学修士	言語文化表現
兼任 講師	浜野 範子 <令和2年4月> 芸術学修士	音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	深澤 進 <令和2年4月> 修士(学術)	ネットワーク社会
兼任 講師	深澤 暉 <令和13年4月> 博士(文学)	日本語検定対策講座
兼任 講師	藤生 栄一郎 <令和2年4月> 修士(体育学)	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マブソネ ローラン Mabesoone Laurent <令和2年4月> 博士(学術) フランス語1a フランス語1b
兼任	講師	宮崎 順子 <令和3年4月> 人文科学修士 インターネット英語
兼任	講師	宮本 正治 <令和2年4月> 修士(文学) アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語
兼任	講師	矢澤 美佐紀 <令和3年4月> 修士(文学) 歴史のなかの女性
兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 文学士 日本語研究C(ビジネスⅠ) 日本語研究D(ビジネスⅡ)
兼任	講師	矢部 尚子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	船隻 進夫 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (英國) 総合科目
兼任	講師	増田 未来 <令和2年4月> 修士(人文科学) 身体運動Ⅰ
兼任	講師	増茂 和男 <令和2年4月> 修士(学術) フランス語1a フランス語1b
兼任	講師	宮崎 順子 <令和3年4月> 人文科学修士 インターネット英語
兼任	講師	宮本 正治 <令和2年4月> 修士(文学) <del>アドバンスト・リーディング</del> アドバンスト・ライティング メディア英語 英語1a 英語1b
兼任	講師	森川 智成 <令和2年4月> M.A.(英國) 英語1a 英語1b
兼任	講師	矢澤 美佐紀 <令和3年4月> 修士(文学) 歴史のなかの女性
兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 文学士 日本語研究C(ビジネスⅠ) 日本語研究D(ビジネスⅡ)
兼任	講師	矢部 尚子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	船隻 進夫 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (英國) 総合科目
兼任	講師	増田 未来 <令和2年4月> 修士(人文科学) 身体運動Ⅰ
兼任	講師	増茂 和男 <令和2年4月> 修士(学術) フランス語1a フランス語1b
兼任	講師	松尾 夏海 <令和3年4月> 文学士 アドバンスト・ライティング
兼任	講師	宮崎 順子 <令和3年4月> 人文科学修士 インターネット英語
兼任	講師	宮本 正治 <令和2年4月> 修士(文学) <del>アドバンスト・リーディング</del> アドバンスト・ライティング メディア英語 英語1a 英語1b
兼任	講師	森川 智成 <令和2年4月> M.A.(英國) 英語1a 英語1b
兼任	講師	矢澤 美佐紀 <令和3年4月> 修士(文学) 歴史のなかの女性
兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 文学士 日本語研究C(ビジネスⅠ) 日本語研究D(ビジネスⅡ)
兼任	講師	矢部 尚子 <令和2年4月> 芸術学士 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	山岡 華菜子 <令和3年4月> 博士(文学) 日本語表現技術Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	山賀 英美 <令和2年4月> M.A. 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	山賀 英美 <令和2年4月> M.A. 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任	講師	大和 洋子 <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論	兼任	講師	大和 洋子 <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論	兼任	講師	大和 洋子 <令和4年4月> 教育修士 多文化保育論
兼任	講師	山本 賢二 <令和2年4月> 国際学修士 中国語 I a 中国語 I b						
兼任	講師	吉岡 晶子 <令和2年4月> 家政学士 言語文化表現	兼任	講師	吉岡 晶子 <令和2年4月> 家政学士 言語文化表現	兼任	講師	吉岡 晶子 <令和2年4月> 家政学士 言語文化表現
						兼任	講師	幸 幸 <令和13年4月> 文学修士 英語 I a 英語 I b

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【新規・退職・新規担当】

- 宮野 周准教授の退職に伴い、入門ゼミナールは、金 允貞講師、水島 ゆめ講師を採用。児童学概論※は、別教員が担当。感じて表現（造形）の担当として、名達 英詔教授を採用。
- 呂 小転助教の退職に伴い、幼稚園教育実習総論、幼稚園教育実習、保育実習総論Ⅰ、保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習総論Ⅱ、保育実習Ⅱ、保育実習総論Ⅲ、保育実習Ⅲ、保育インターンシップ（R3年度開講）の担当として後任選定中。
- 齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ（R3年度開講）の担当として後任選定中。
- 阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- 加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール（R3年度開講）の担当として後任選定中。
- Mabesoone Laurent講師の退職に伴いフランス語Ⅰa、フランス語Ⅰbの担当として、増茂 和男講師を採用。
- 山本 賢二講師の辞退に伴い、中国語Ⅰa、中国語Ⅰbの担当として、時松 史子講師を採用。
- 考えて表現（造形）の担当として、水島 ゆめ講師を採用。名達 英詔教授を削除。
- 教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田（今村）有理准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- 女性の心と身体への担当として、金子 和正講師を採用。飯田 路佳教授、布施 晴美教授を削除。
- コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- 風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- 教育効果充実を図る為、英語Ⅰa、英語Ⅰbの担当として、福田 仁教授、森川 智成講師を採用。
- 日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師を削除。
- 教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- 音楽表現基礎技能の担当として、山賀 英美講師を新規採用。加倉井 佳世子講師は削除。
- 教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- 朝鮮語Ⅰa、朝鮮語Ⅰbの担当として、長渡 陽一講師を採用。チヨ ヒ講師は削除。
- コマ数追加による身体運動Ⅰの新規担当追加として、増田 未来講師を採用。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- 福田 ゆかり教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 加藤 則子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 上垣内 伸子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 向井（木村）美穂教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 設楽（松尾）優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 好本 恵教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 石川 敬史准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 落合 真裕准教授は、コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 安達 宏之講師は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 名取耶 厚講師（削除）情報処理演習Ⅱ 今年度本学科では、担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- 渡邊 孝枝講師の身体運動Ⅱは、別教員が担当。
- 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症の影響のため未開講。
- 石野 榮一教授の地域で学ぶは、別教員が担当。
- 狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 向後（田中）朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- sheila Cliffe教授 新規担当 英語Ⅰa、英語Ⅰb、アドバンスライティング
- 星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 綿井 雅康教授の総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- 杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更 日本語表現技術Ⅱ
- 福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ⅰb
- 山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- 加藤 薫講師から福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語研究A（時事Ⅰ）
- 神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- 渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 榊原 理枝子講師の英語Ⅰa、英語Ⅰbは、別教員が担当。
- 谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- 宮本 正治講師 新規担当 英語Ⅰa、英語Ⅰb
- 宮本 正治講師から設楽（松尾）優子教授へ担当変更。アドバンスリーディング応用

【令和3年度】

- 大宮明子教授 担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。
- 福田ゆかり教授 担当科目として「保育制度・保育政策論」を追加。
- 加藤則子教授 担当科目として「児童学概論※」を追加。
- 潮谷恵美教授 担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。

・ 鈴木康弘教授	科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
・ 長田（鈴木）瑞恵教授	科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
・ 名達英詔教授	担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」、「造形発達と表現」は今年度担当なし。
・ 向井（木村）美穂教授	科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
・ 山田陽子教授	科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
・ 鈴木晴子准教授	担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。
・ 菅野麻紀准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 金允貞講師	担当科目として「児童学概論」、「幼児教育基礎実習」、「幼児教育基礎演習」、「子どもの理解と援助」、「乳児保育Ⅰ」を追加。
・ 土屋由講師	担当科目として「入門ゼミナール」、「保育者論」、「幼児教育学」を追加。
・ 水島ゆめ講師	担当科目として「児童学概論」、「ネイチャー・ワーク」、「表現総論」、「保育内容の指導法（造形表現）」、「造形発達と表現」を追加。
・ 渡邊孝枝講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」、「身体運動Ⅱ」を追加。科目配当上の理由により「児童学概論※」は今年度担当なし。
・ 近藤有紀子助教	担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「保育制度・保育政策論」は今年度担当なし。
・ 飯田路住教授	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 池川繁樹教授	科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。
・ 池間里代子教授	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 石野榮一教授	科目配当上の理由により「企業に学ぶキャリアデザイン」、「プロアクティブ人材育成」は今年度担当なし。
・ 石山隆之教授	科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
・ 大倉哲也講師	「総合科目」の担当に追加。
・ 風間文明教授	科目配当上の理由により「自主社会活動」は今年度担当なし。
・ 狩野浩二教授	科目配当上の理由により「21世紀型の教育」は今年度担当なし。
・ 北原俊一教授	科目配当上の理由により「情報処理演習Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 向後（田中）朋美教授	担当科目として「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」、「英語コミュニケーション応用」を追加。科目配当上の理由により「アドバンスト・リスニング応用」は今年度担当なし。
・ 設楽（松尾）優子教授	科目配当上の理由により「映画・ドラマ英語」、「TOEIC対策講座」、「アドバンスト・リーディング応用」は今年度担当なし。
・ sheila Cliffe教授	自己都合により退職。
・ 田倉昭教授	科目配当上の理由により「キャリア基礎力Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 竹之内修特任教授	担当科目として「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」、「英語コミュニケーション応用」を追加。
・ 桐谷祐一教授	担当科目として「キャリア基礎力Ⅰ」を追加。
・ 中西郁教授	担当科目として「特別支援教育概論」を追加。
・ 中山成夫教授	担当科目として「総合科目」を追加。
・ 羽田邦弘教授	担当科目として「課題解決ゼミナール」、「総合科目」、「21世紀型の教育」を追加。
・ 星野敦子教授	担当科目として「保育制度・保育政策論」を追加。科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
・ 細谷忠司教授	担当科目として「人間理解ワークショップ」を追加。
・ 綿井雅康教授	担当科目として「自主社会活動」を追加。
・ 飯村九林准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 梶野涼子准教授	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 神山真澄准教授	担当科目として「総合科目」、「食の科学」を追加。
・ 福田仁教授	担当科目として「ビジネス英語」、「映画・ドラマ英語」を追加。
・ 徳野裕子准教授	担当科目として「地域と人間生活」を追加。科目配当上の理由により「女性と健康」は今年度担当なし。
・ 星野祐子准教授	担当科目として「課題解決ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「日本語検定対策講座」、「総合科目」は今年度担当なし。
・ 伊藤美穂講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」、「総合科目」を追加。
・ 稲田朋晃講師	担当科目として「総合日本語Ⅱb」を追加。科目配当上の理由により「総合日本語Ⅱb」、「日本語表現技術Ⅲ」、「日本語研究A（時事Ⅰ）」は今年度担当なし。
・ 鴨下澄子講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 神田俊平講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 仇曉芸講師	担当科目として「英語Ⅱa」、「英語Ⅱb」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」、「中国語Ⅱa」、「中国語Ⅱb」は今年度担当なし。
・ 高田健人講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 鳥越信吾講師	科目配当上の理由により「キャリア基礎力Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 中岡加奈絵講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 新嶋良恵講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 増田早哉子講師	「人間理解ワークショップ」の担当に追加。
・ 見吉英彦講師	担当科目として「企業に学ぶキャリアデザイン」を追加。
・ 山下悠貴乃講師	科目配当上の理由により「総合日本語Ⅱb」、「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語集中講座（編入）※」、「日本語表現技術Ⅱ」、「日本語研究A（時事Ⅰ）」は今年度担当なし。
・ 若菜京良講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 八畝晶子講師	担当科目として「総合科目（トップアスリートの育成から学ぶ）」を追加。
・ 渡辺章夫講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 堀井貴子講師	科目配当上の理由により「食と発達」は今年度担当なし。
・ 菅原沙恵子助教	担当科目として「食の科学」を追加。
・ 秋山まき子講師	科目配当上の理由により「TOEIC対策講座」は今年度担当なし。
・ 荒井（田中）あさ香講師	「日本語研究A（時事Ⅰ）」の担当に追加。
・ 池辺早良講師	「TOEIC対策講座」の担当に追加。
・ 臼井直也講師	「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語表現技術Ⅱ」の担当に追加。
・ 宇野和講師	「日本語検定対策講座」の担当に追加。
・ 大友彩子講師	「アドバンスト・リスニング応用」の担当に追加。
・ 加倉井佳世子講師	科目配当上の理由により「音楽表現応用」は今年度担当なし。
・ 木内祥太講師	「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」の担当に追加。
・ 榊原理枝子講師	担当科目として「映画・ドラマ英語」を追加。科目配当上の理由により「英語Ⅱa」、「英語Ⅱb」は今年度担当なし。
・ 名取耶厚講師	科目配当上の理由により「情報処理演習Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 深澤瞳講師	「日本語検定対策講座」の担当に追加。
・ 松尾夏海講師	「アドバンスト・ライティング応用」の担当に追加
・ 森川智成講師	科目配当上の理由により「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」は今年度担当なし。
・ 山岡華菜子講師	「日本語表現技術Ⅲ」の担当に追加。
・ 山賀英美講師	担当科目として「音楽表現応用」を追加。
・ 李華雨講師	「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」の担当に追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	7	1	2	20	0	11	5	4	1	21	0
(10)	(6)	(3)	(1)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	5	4	1	21	0	11	5	4	1	21	0
[1]	[Δ2]	[3]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[Δ2]	[3]	[Δ1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = \boxed{105} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{21} = \boxed{9.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	宮野 周	2020/3/31	必修	入門ゼミナール	①	R2.3.31退職のため就任辞退						
				必修	児童学概論	①							
				必修	ネイチャー・ワーク	①							
				必修	表現総論	①							
				選択	保育内容の指導法（造形表現）	①							
				必修	感じて表現（造形）	①							
				選択	造形発達と表現	①							
				選択	造形保育論	①							
				選択	保育・教職実践演習	①							
				必修	卒業研究	①							
2	助教	呂 小転	2020/3/31	選択	幼稚園教育実習総論	①	R2.3.31退職のため就任辞退						
				選択	幼稚園教育実習	①							
				選択	保育実習総論Ⅰ	①							
				選択	保育実習Ⅰ（保育所）	①							
				選択	保育実習Ⅰ（施設）	①							
				選択	保育実習総論Ⅱ	①							
				選択	保育実習Ⅱ	①							
				選択	保育実習総論Ⅲ	①							
				選択	保育実習Ⅲ	①							
				選択	保育インターンシップ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{20} = 10 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1			該当なし				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。学生に対しては、新総合教育システム（ユニバーサルパスポート）に「時間割・担当変更一覧」を掲載し、周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<教育人文学部 幼児教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和3年度の授業期間についても、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間についても弾力的に取り扱っている。また、令和2年度の後期から実施した分散型授業を、令和3年度も継続している。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>十文字学園女子大学全学委員会通則規程（別添資料1）に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。</p> <p>全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。</p> <p>令和2年度は人間福祉学科の教員が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名（教員11名、職員5名）で運営された。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和2年度は全5回開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>令和2年6月4日（木）-6月10日（水）</td> <td>教員出席者</td> <td>11人（メール開催）</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和2年8月13日（木）-8月19日（水）</td> <td>教員出席者</td> <td>11人（メール開催）</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和2年10月29日（木）</td> <td>教員出席者</td> <td>9人（ZOOM開催）</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和2年12月3日（木）</td> <td>教員出席者</td> <td>10人（ZOOM開催）</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>令和3年2月18日（木）</td> <td>教員出席者</td> <td>9人（ZOOM開催）</td> </tr> </table> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) FDに係る研修会等の実施に関する事項</li> <li>(2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項</li> <li>(3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項</li> <li>(4) その他本学のFDに関する事項</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>全学FD委員会が令和2年度に実施したFD活動は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業アンケート</li> <li>(2) 授業に関する学生・教員交流会</li> <li>(3) 授業公開</li> <li>(4) 研修会</li> <li>(5) FD報告書の作成</li> </ol> <p>を実施した。</p> <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業アンケート</li> </ol> <p>原則、前期後期ともに第13～15回目の授業回のいずれかで、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。</p> <p>さらに、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として行った遠隔授業や分散型授業について、教員にもアンケートを実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 授業に関する学生・教員交流会</li> </ol>	第1回	令和2年6月4日（木）-6月10日（水）	教員出席者	11人（メール開催）	第2回	令和2年8月13日（木）-8月19日（水）	教員出席者	11人（メール開催）	第3回	令和2年10月29日（木）	教員出席者	9人（ZOOM開催）	第4回	令和2年12月3日（木）	教員出席者	10人（ZOOM開催）	第5回	令和3年2月18日（木）	教員出席者	9人（ZOOM開催）
第1回	令和2年6月4日（木）-6月10日（水）	教員出席者	11人（メール開催）																	
第2回	令和2年8月13日（木）-8月19日（水）	教員出席者	11人（メール開催）																	
第3回	令和2年10月29日（木）	教員出席者	9人（ZOOM開催）																	
第4回	令和2年12月3日（木）	教員出席者	10人（ZOOM開催）																	
第5回	令和3年2月18日（木）	教員出席者	9人（ZOOM開催）																	

令和3年2月3日（水）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月24日（火）～12月8日（火）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和2年10月22日（木）に、「オンライン授業のデザインと実施の工夫」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和3年に「令和2年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和2年度は、前期は7月10日（金）～9月11日（金）、後期は12月9日（水）～2月4日（木）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期名127、後期131名、実施率は前期99.6%、後期100.0%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っている。コメント提出率は、前期76.9%、後期73.3%であった。
- ・教員向けアンケートは、前期9月11日（金）～9月30日（水）、後期は1月25日（月）～2月5日（金）に実施した。回答率は前期69.9%、後期45.2%であった。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した留学生を含む代表学生27名と、FD委員を含む教員11名が参加した。
- ・「ZOOM授業を振り返る」「おすすめ授業を共有する」「理想の授業を創ろう」の3つのテーマについて6つのグループでディスカッションを実施し、1チーム5分で発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学側の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学方法はハイブリッド型授業の参加とし、ZOOMでの参観の場合はURLやパスワードを予め伝達した。
- ・見学者は、77名（教員71名、職員6名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、1名の学内教員のコーディネイトにより、「オンライン授業のデザインと実施の工夫」をテーマに、遠隔授業に関する事及び授業デザインの方法についての研修会を行った。
- ・参加者は165名（教員90名、職員75名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和3年9月以降に「令和3年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。さらに、令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、教員向けにも遠隔授業、分散型授業に対するアンケートを実施し、課題の把握を行った。昨年に引き続き、授業開始の際、新規非常勤を中心に遠隔授業のサポート等を行っている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況  
(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)  
「該当なし」
  - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）  
「該当なし」
  - c 委員会の審議事項等  
「該当なし」
  - d その他  
「該当なし」
- ② 審議状況
- a 審議した内容  
「該当なし」
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況  
「該当なし」
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況  
「該当なし」

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試においては、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。令和3年度入試においては、超過是正を念頭におきつつ、入試選抜に取り組んだが、心理学科が歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えた。一方で、食品開発学科については定員40名に対し入学者38名、幼児教育学科が定員170名に対し入学者146名、児童教育学科が定員80名に対し入学者64名、社会情報デザイン学科は定員130名に対して入学者104名、と4学科で定員割れとなった。引き続き募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

##### ② 自己点検・評価報告書

- ・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

##### a 公表（予定）時期

- ・令和3年11月までに公表予定。

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ

いて記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。